

第8期定時株主総会
プレゼンテーション資料抜粋

第一生命グループの
新中期経営計画

C  NNECT 2020



Dai-ichi Life
Holdings

グループの成長に向けた構図

第一生命グループ

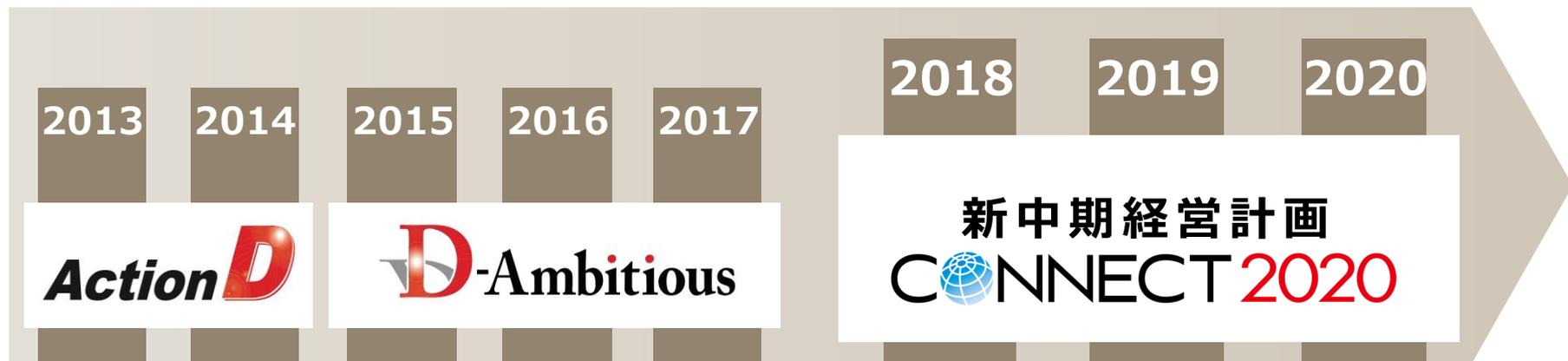
お客さまの「一生涯のパートナー」

確固たる
事業基盤

健全な
財務基盤

多様な人財

「CONNECT 2020」位置づけ



事業基盤の拡大・分散

確立した事業基盤を活かした
収益力の一層の強化

グループの成長に向けた構図

第一生命グループの強み

+

お客さま

地域・社会

多様な
ビジネス
パートナー

グループ
各社

CONNECT 2020

グループの成長に向けた構図

クオリティー・オブ・ライフ（QOL）の向上

その人の望む人生や、こう生きたいという生き方を実現する
よりその人らしい生活を送る

あらゆる人々の 健康の増進



保険普及等による 生活の安定



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です。

国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の中から、当社グループの強みを活かして取り組む領域の一例を掲載

第一生命グループの持続的な成長

グループの成長に向けた重点取組

3つの成長エンジンの強化

国内生命保険事業

海外生命保険事業

資産運用・
アセットマネジメント事業

支える仕組み

イノベーションの創出

ERM（*）
ダイバーシティ&インクルージョン
*エンタープライズ・リスク・マネジメント

国内生命保険事業

銀行・証券

生涯設計デザイナー

保険ショップ等
代理店

マルチブランド・マルチチャネル体制の拡大・進化



第一フロンティア生命

第一生命

ネオファースト生命

国内生命保険事業

第一生命

ぴったりが見つかる保険

ジャスト

健診割



第一フロンティア生命

プレミアカレンシー・プラス2

ネオファースト生命

ネオde健康エール

「健康年齢®」

クオリティー・オブ・ライフ (QOL)の向上を訴求する商品戦略

国内生命保険事業

都道府県



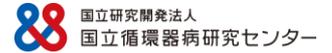
金融機関



異業種パートナー



ナショナルセンター



パートナーシップの更なる拡大

海外生命保険事業



持続的成長を維持、海外生保事業の利益成長を牽引

新たな成長機会の追求

海外生命保険事業



チャネル強化等により各国における市場シェアを拡大

海外生命保険事業

中長期的な事業成長が見込めるメコン地域

早期進出による
先行者メリット



ミャンマー

第一生命ベトナムの
ノウハウ活用による
効率的な事業運営



カンボジア

DAI-ICHI LIFE

Gắn bó dài lâu.

事業開始に向けた取組みを本格化

資産運用・アセットマネジメント事業

第一生命の資産運用事業

安定的な運用収益

社会の持続的発展

ESG投資



(写真提供: アジア開発銀行)



(写真提供: 永和電力株式会社)

資産運用・アセットマネジメント事業

アセットマネジメント事業

アセットマネジメント2社



Janus Henderson
— GROUP PLC —

国内・海外グループ生保



Dai-ichi Life Group

グループシナジー創出の拡大

イノベーションの創出

INS TECH 先端技術活用による利便性・生産性向上

給付金のお支払いや
各種手続をデジタル化



お客さまの利便性向上

RPA等を活用した
保険事務の自動化



当社事務の生産性向上

働き方改革による生産性向上

2100名分の人財リソースを成長分野にシフト

イノベーションの創出

INSTECH **新たな市場・競争軸を生むイノベーション創出**

東京ラボ



シリコンバレー ラボ



外部
パートナー企業等

グループ内各社

新たなビジネスモデルの創出

コーポレートガバナンス体制

マルチステークホルダーからの負託

持続的な成長と中長期的な企業価値向上

業務執行と経営の監督の
バランス

透明・公平かつ迅速・果断な
意思決定

コーポレートガバナンス体制

取締役会

取締役

監査等委員会

取締役
(監査等委員)

指名諮問委員会

取締役会：適切な経営判断（社内取締役・社外取締役のバランス）

指名諮問委員会・報酬諮問委員会：経営の透明性・客観性

報酬諮問委員会

監査等委員会：適法性・妥当性の観点から監査・監督

コーポレートガバナンス体制

取締役会の意思決定
有効性・実効性の担保



社外取締役の経営戦略の
理解促進



取締役会の有効性・実効性向上

今後の目標

経営目標（計数目標）

会計利益

グループ修正利益

2020年度 **2,500億円程度**
(2017年度 2,100億円)

※2017年度実績は一時的要因を除く

将来利益
(経済価値)

グループ新契約価値

2020年度 **2,300億円程度**
(2017年度 1,900億円)

今後の目標

中長期的に目指す姿

資本効率

EV成長率
(ROEV)

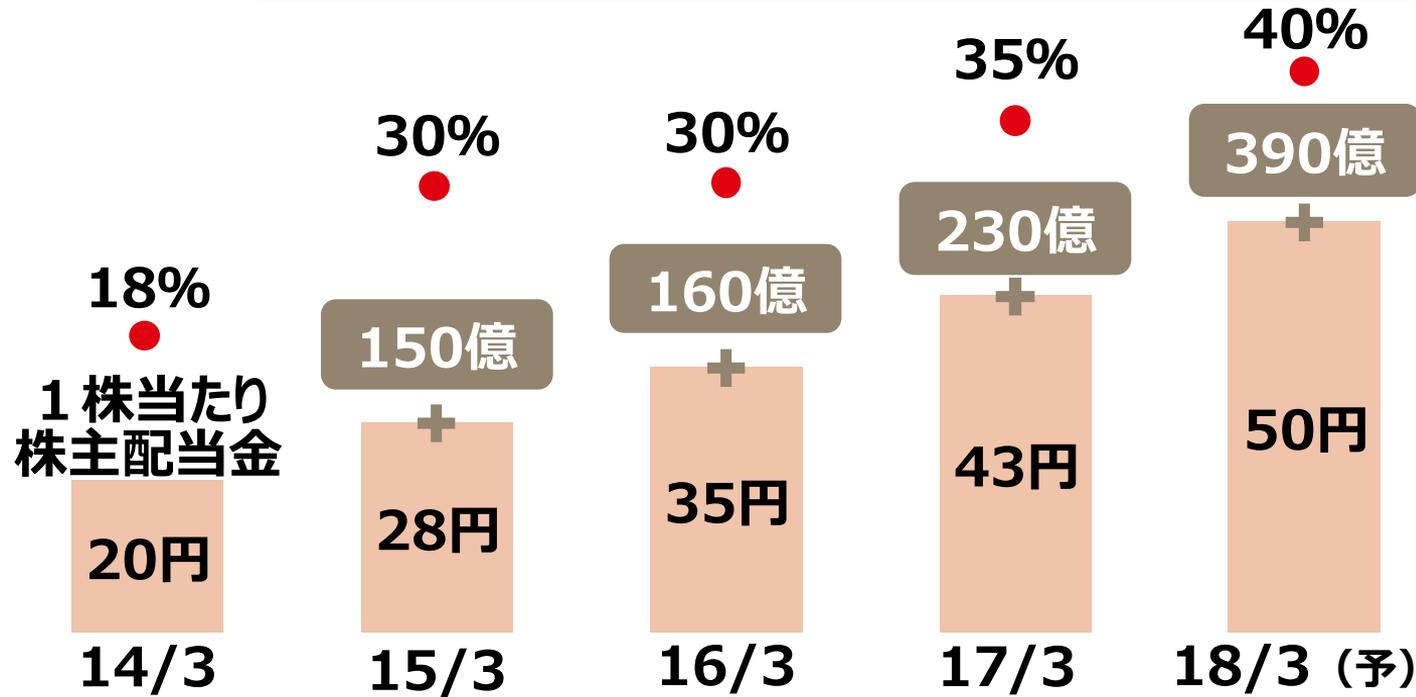
中長期的に
年平均8%成長を目指す

健全性

資本充足率
(経済価値)

中長期的な時間軸で
170~200%到達を目指す

株主還元



総還元性向40%目処

機動的な自己株式の取得

安定的な株主配当

グループ利益成長のイメージ

さらなる事業基盤の拡大

+

グループ修正利益
3,000億円

5-7%の成長

グローバルな事業基盤を活かした各事業の内部成長



Dai-ichi Life Group

安心の最高峰を、地域へ、世界へ